

**Q1. 第 I 部「研究会公開討論」についてお伺いいたします。**

**(1) セキュア OS 研究会「トラステッドコンピューティングの実現」**

**本討論会に関するご意見や、研究会活動に対するご要望等がありましたらご記入ください。**

**【セキュアOS研究会への要望（研究内容に関する要望）】**

- ・ 機能・構築は高くとも、運用において問題が発生したりすることもあり、見た目のセキュリティから、維持できるセキュリティという問題も取り上げていただきたいと思えます。(非会員)
- ・ VM への回帰現象の発想は興味深かった。この面をもう少し進めてもらえるとよい。
- ・ 回帰現象は同感です。規約調査研究に期待します。
- ・ セキュア OS の範囲からは外れるが、ERP のように自身でセキュリティ機能を実装しているアプローチや下位レベルでの Itanium は各ベンダ共通で周辺チップは自主開発しているレイヤ等の信頼性についての現状を知りたい。
- ・ 次のステップとして、今後の「トラステッドコンピューティング」の在り方を提言できるような活動を期待しております。
- ・ 政府が「VM によるセキュア OS」に 2 億円の予算を付けていると聞く。これは正しい方向か、研究会の意見を求む。Windows OS の元でのセキュリティ・ソフトを無能化する点もあり重要な課題と思われる。
- ・ セキュア OS を管理する人間の管理。

**【セキュアOS研究会への要望（対外活動等に関する要望）】**

- ・ トラステッド OS の適用例の発信を期待します。(非会員)
- ・ 研究会での結果を広く公開してほしい。(非会員)
- ・ 研究会の活動が概観できた。OS と監査についての大井先生のコメントに関連して、監査人と会計士への啓発活動についても取り組んでいただきたいと考えました。
- ・ 現実問題としてセキュア OS の必要性が見えてこないように思います。過去に PitBull の販売にも携わった事がありますが、市場で求められる物ではなかったと認識しています。単純化というお話もありましたが、市場にとって分かりやすい仕組にすることが求められているかと思えます。(非会員)

**【その他の感想】**

- ・ 規約や VM の調査や開発が進んでいることが分かったが、今後の発展性や普及については、ループも一巡し、方向性が見えていないことも分かった。やはり官公産業界への発展となるのだと思います。
- ・ 研究会の動向及び研究対象課題について理解が深められました。
- ・ 各 WG において更に深めていけると良いと思います。

**(2) コーポレートガバナンス研究会「内部統制にかかわるフレームワークの研究」  
本討論会に関するご意見や、研究会活動に対するご要望等がありましたらご記入ください。**

**【コーポレートガバナンス研究会への要望（研究内容に関する要望）】**

- ・ 内部統制における IT 手段の具体的適用要領をガイドライン的に明示して欲しい。
- ・ 自家鳴争の内部統制において、被統制側の指針となる議論の主導者としての役割を果たすべく、積極的な活動、情報発信をしていただければ、と思います。（非会員）
- ・ COSO がベースになることは解るが、テーマ通りの方向に研究の場を拓げていないのか。
- ・ 内部統制の枠組みは、米国以外の国々（カナダ、独、仏、豪、韓 etc.）でも整備されており、それぞれ異なる法制、運用がなされている。米以外の状況にも目を向けるべき。また、ガバナンスは経営者に対する監視を中心とする概念であり、内部統制やリスクマネジメントとは幾分異なる文脈で整理されるべきと考える。
- ・ 金融庁から実施基準が出て、各企業は現在対応を進めている最中だと思いますが、「スジ論」と「法対応」の乖離が大きく、とまどっているのが現状だと思います。是非企業実務家に有益な提言をお願いします。（非会員）
- ・ COSO で米国が先導していますが、マネジメントシステムとしては英国が優位な部分があると思います。ISO のマネジメントシステムとの関連もまとめていただくと助かります。（非会員）
- ・ COSO 以外の方法論や COSO を超えると思われる方法論についての研究を期待しております。（非会員）
- ・ COSO の勸進元？の米国で不祥事が絶えないことに関して何らかの理由があるのでしょうか？何らかの原因で不祥事が絶えないから統制を強化せざるを得ないのでしょうか？
- ・ 「IT 内部統制（全般統制、業務統制）」の課題は何か、その課題に対する解決法は何か。
- ・ 歴史観（秦の法家思想の失敗への反省）、日本の得意手法（物造りにおける高品質の維持）の活用の路を検討しては。
- ・ 日本独自のガバナンス論は？

**【その他の感想】**

- ・ 研究会の動向及び研究対象課題について理解が深められました。
- ・ J-SOX 法が先行してとりあげられるが、バランスよいルール、基準の採用が行われることを企業に期待しています。
- ・ アウトソーシング事業者が企業の業務をアウトソーシングする場合、企業の内部統制をどうやって実現するかが難しい。（非会員）
- ・ 研究会内容は概観できました。「リスク分析からコントロールがある」ということについて改めて納得できました。
- ・ COSO についてはこれまでほとんど知識がなかったので、今回の話は非常に興味深いものでした。リスク選好に基づいて「目標→リスク評価→統制」と実現していくには、リスク選好についてどのように類型化、定量化が必要かとは感じました。
- ・ 良い。

**(3) 個人情報の保護研究会「『プライバシー保護手段としてのセキュリティ』と『プライバシーと拮抗するセキュリティ』」 本討論会に関するご意見や、研究会活動に対するご要望等がありましたらご記入ください。**

**【個人情報の保護研究会への要望（研究内容に関する要望）】**

- ・ 課題となったプライバシーの公正な取扱いに関する機関の創設について、堀部先生から前より官庁間の問題でも難しいとはうかがってきましたが、学会として、この方面の推進をすべきかと思えます。（非会員）
- ・ 個人情報保護の問題は究極的には個人と社会との関わり方、在り方に関わる命題であると思えます。社会学や文化、文明にまで踏み込んだ検討と議論を期待しております。（非会員）
- ・ 住民基本台帳ネットワークの名寄せ問題。
- ・ 個人情報保護と本人認証の研究を進めてほしい。（非会員）

**【個人情報の保護研究会への要望（対外活動等に関する要望）】**

- ・ プライバシーvsセキュリティについては、文化、倫理、観念等との関係において日本や各国の社会合意をとってゆくものだと思う。日本におけるこの面での人材育成（考えてゆくことのできる）を図るべきだと思う。

**【その他の感想】**

- ・ 研究会の動向及び研究対象課題について理解が深められました。参画を期待するものを感じました。
- ・ 「プライバシーと拮抗するセキュリティ」についてももう少し議論を進めてもらえるとよかった。
- ・ 個人情報保護についてコンサルをしています。保健医療分野のため文献等が皆無に近いのでヒントが得られないかと参加いたしました。堀部先生の談話は今後の方向を少しだけ参考になりました。（非会員）
- ・ 「ADR」について調べてみたいと思いました。
- ・ 是非もっと堀部先生のお話、質疑をさせていただきたかった。
- ・ 堀部先生のお話は、研究会の発表枠の中に納めてしまうのはいかにももったいない。別枠として、「一般メンバー」による発表にしたほうがよかったのではないかと。
- ・ OECDの8原則等、今一度勉強しなければならないと痛感しました。
- ・ 個人情報についての議論の流れ、最新テーマが理解できた。プライバシーとセキュリティについては、日本でももっと取り上げられるべきであると思う。
- ・ プライバシーとセキュリティの間の緊張した関係は、自由における権威主義、リベラリズム及びリバタリアニズムとの関係を想起させ、非常に興味深いものでした。（その辺をもう少しうまく言えばよいのですが・・・）。
- ・ プライバシーと拮抗するセキュリティについて、プライバシー、セキュリティともにCIAのバランスが保てていないことに問題があるように思います。プライバシーを数ある「情報」の内の一つと捉えらるともう少し議論も進んでゆくのでは、と思います。（非会員）
- ・ 良い。

**Q2. 第Ⅱ部「学会の役割公開討論」についてお伺いいたします。**

**(1) パネルディスカッション「学会が取り組むべき課題」**

本パネルディスカッションに関するご意見や、学会が取り組むべき課題に関するご要望等がありましたらご記入ください。

**【JSSM学会への要望（研究内容に関する要望）】**

- ・ 学術、業界のどちらも取り上げない共通の課題を取り上げることは重要であるが、情報セキュリティに関しては、アカデミックな共通のコミュニティ活動が必要であろう。リミット値によって研究がされていない課題は何か考える必要があると強く思いました。
- ・ 堀江先生のご指摘どおり、ガバナンスとマネジメント、内部統制の混同、用語の使い分けのあいまいさ、いわゆる J-SOX への関心があいまって、国内に多大な混乱が見られる。こうした概念の明確化・整理にも重点を置いていただければ幸いである。
- ・ 日本の歴史観、思想をベースに普遍的なセキュリティ技術開発はできないものか。もし出来ればそれが一気に打開でも、日本の国益にも叶うものとなる様に思う。そういう研究テーマで研究ができればと思った。
- ・ キーワードとして「すきま」や「学際的アプローチ」などが出てきましたが、学会内にも分野の異なる各研究会があるので、各研究会がジョイントして研究・推進できるようなテーマのひねり出しやそれに資するような情報の整理のような Project があるとよいかも知れません。
- ・ 学会が取り組む課題として、ERM について、情報システム及びセキュリティに関するインシデントの統計を取る事を推進できないかと思えます。監査等に携わっていると、毎回の様に聞かれるのは、「うちの会社は一般的にどのレベルでどこまでセキュリティをやれば良いか？」という質問です。インシデント統計が母数の種類に偏ることなく充実すれば「何をどこまで？」に対する有効な回答ができるのではと覆います。(非会員)
- ・ IT ベンダー（既得権益）vs セキュリティ文化（発展的、社会貢献的）論争をもっと固めてゆかねばならない。今の予算でもかなりのことができるはず。
- ・ JSSM&IDF 等、各専門学会との連携によるデジタル、フォレンジック分野の研究促進を図りたい。
- ・ 社会科学的なアプローチももっとあって良いと思いました。例えば、企業実務の中ではヒューマンエラーはセキュリティを脅かすファクターの中では大きな部分を占めると思いますが、ヒューマンエラーはなぜ起きるのか、どうすれば防げるのか、などの研究があっても良いと思います。(非会員)

**【JSSM学会への要望（対外活動等に関する要望）】**

- ・ 佐々木先生の考え方及び JSSM 活動への提言は参考となった。また「発信」は活発化すべきだと思う。
- ・ 若い世代を学会に送り、協力、教育する体力に企業が欠けていることも問題だと思います。学会は、学会に参加すべき意義を企業に見せ、積極的に PR する必要もあると思います。(非会員)

- 一つのテーマを様々な視点からディスカッションするのを興味深く伺いました。このようなセキュリティを深める議論の場をオープンに提供していくことも学会に期待される役割の一つではないでしょうか。(非会員)
- 情報セキュリティの人材育成を学会としてどうするか？(非会員)
- 「情報システム専門家」の求人は少ない。人材流通はどのようにしてできるか。
- 提示された資料(電子化)の提供。(WebにUpするのは問題であれば希望者(会員内)メールアドレス宛ての同報することによって)
- ビジネスとの視点多いと思いますので、ビジネス界に向けた情報発信、提供などを期待したいと思います。研究会活動についての広報なども希望します。
- 研究成果や提言の内外への発信。

### 【その他の感想】

- 山口さん講演は、いつもながら熱く面白く重要ポイントを述べてくれたと思います、JSSM 戦略担当理事になって欲しい。辻井会長のお話も、文明や歴史、倫理を交え熱のこもったものであった。塩崎さんは、やはりメーカ(ベンダー)的説明内容だった(企業組織内にいると自分の考えを述べるのは難しいのだと思う)。堀江先生からは、文系研究の特性が良く分かった。
- 想像した以上に挑戦的なディスカッションで参考となりました。フランクな学会を理解させていただきました。
- 5つの視点からのアプローチは、課題を把握するには良かったが、進め方としては、各視点毎の論議ではなくて、皆さんそれぞれの考えを述べてもらったあと、論議を進めると解り易かったのではないかな。
- どの課題が学会の役割なのか、その理由が不明確だった。
- 日本における歴史観は、かなり不勉強で、まともな人は少ないですね。個人的な学習を行った人はよく(特定時代・方向の場合もありますが)理解されているが、議員や社会を引っばっているとされる人々については悲しい現状ですね、(選べればいいのですが)。そこから危機感が生じるはずが生じていないのが、現在の日本の状態ではないでしょうか。
- 学会が取り組むべき課題にオーバーラップさせて、自分の取り組むべき領域について考えをめぐらせる時間がとれて有意義であった。
- 本業従事者が主役との意見は賛同します。(非会員)
- 良い。

**Q3. その他、本討論会全体を通じて、特に印象に残った論点や、ご意見等がありましたら、ご記入ください。**

**【討論会に対する意見、感想】**

- ・ 一部参加している研究会等はありませんでしたが、今後の動機付けが加わり、良い刺激をいただきました。
- ・ 辻井先生の倫理の位置付けには、興味を持った。セキュリティもつきつめれば、人間系の問題そのものであり、もう少し倫理とセキュリティの関係についての知識を深める必要を感じた。
- ・ ライフワークとしてセキュリティを考えるコミュニティに活動させていただきたいと思いました。(社会貢献として)
- ・ 佐々木先生の具体的課題提起は共感を得られた。実務者とタグを組んだ研究には期待したい。(非会員)
- ・ 山口先生のセキュリティ補佐官の経験からのお話、「すき間」の問題、年齢問題などが印象に残りました。他のセキュリティ関係の学会、業界団体等との差別化や協業をどう考えておられるかも興味のあるところです。(非会員)
- ・ 今回は良い話が聞けました。ありがとうございました。
- ・ 身近な部分と、国・国際レベルの両極のような気がします。気づき、と積み重ね、そして、それらの追求、ではないでしょうか。
- ・ 単なる、事前のシナリオに沿ったパネルではなく、その場でのリアルタイムでのディスカッションの形になっており、堪能させていただきました。
- ・ 内田さんの「J-SOX を最初に云い出したのは誰か」というお話が印象に残りました。
- ・ 全体に良かった。
- ・ JSSM に参加して1年超経過するが、今回初めて「課題」という言葉が出て、何かをしそうだという期待が持てた。
- ・ 山口先生の情報システムの作り方が劇的に変わってきたことに対する、人材育成の遅れ！
- ・ 「IT 屋が IT 屋のままでは飯の食い上げ」といった、山口先生の意見は、一 IT 屋として身に染みるものがありました。
- ・ 大変勉強になりました。(非会員)